
無意味思考

春波

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無意味思考

【Nコード】

N9419B

【作者名】

春波

【あらすじ】

ただの無意味ででたらめな思考をご披露しよう。皆様俺に答えをください。

隣にいる者から目を逸らして、俺は空を見上げる。その行為には意味など無く、世界はただただぐるぐる廻り動きを止める事はない。永遠に時は刻まれ、自らの意思に関係無く過ぎ去って行き、元には戻らない。それは時という物が創った、生きている者——生きていく物——達に定めた、酷く当たり前で滑稽で、何より残酷な「運命」と言う代物だ。一体自分は何という物だろう。何故時は自分を生み出したのだろう。そしてどうしてこんなにも辛く、そして汚染された世界を創り上げたのだろう。この思考には何の意味も含まれていない。

結局の所、自分達が生きていると言う事には、大きな意味は無いのかもしれない。ひとりひとりの生きている意味は、数字で表せばたった0, 000005m程度の物でしかないのではないか。それが集まって集まって、そしてまた集まって固まって、生きていると言う事が大きな意味になって行くのではないか。

——最近はそんな馬鹿げた事しか考えられなく、仕方ないから思考している。

平和で平凡でありきたりで普通に終わっていて壊れていて何も無い生活をしている自分は、阿呆臭いくらいに面倒な事を考えている。なんでそんな事を考え思考し勝手に決め付けているのかは、自分でも良くわからない。きつと平和で平凡でありきたりで普通に終わっていて壊れていて何も無い生活をしているのに厭きてきたのだろう。まるで全部クリアしてしまったゲームを何回も繰り返しやるのに、厭きていく様に。

まあ、それでも別に困りはしないのだが。

何となく視線を横に動かす。そこには、いつも傍にいる自分にとってとても、きつと大事であろう存在と一緒に並んで歩いている。そんな存在があっても——生きている内は絶対に必要なのだろう。

こいつは、時が構築した「運命」と言う物をどう思っているのだろう。きつと、どうとも思っていないのだろう。俺の隣に居る存在は、難しくごちゃごちゃしたくだらない事を考える事を放棄している。全てを単純に理解する。

単純に理解出来るほどの、軽い思考能力。

俺とは造りが違いすぎて、俺にはこいつが理解できないが……別にいいのだろう。自分の事も理解出来ない俺が、隣にある存在の事をわかり切れる筈が無い。

「」

そいつは俺を呼ぶ。そいつの笑顔を見て、俺は――。

――もう、面倒な思考は止めだ。

終わりだ。終了だ。滅亡だ。破壊だ。

俺の隣にこいつが居てくれれば、

世界が廻っていようが停止していようが関係無いんだ。

――もう、馬鹿げた阿呆臭い思考は止めだ。

世界なんて。時なんて。「運命」なんて。今なんて。

俺の隣にこいつがあれば、

何も思考せず鈍感に単純に意味無く生きていける。

そう思えた。

――なあ。

隣でずっと一緒に歩いててくれないか？

俺はそいつの名前を呼んだ。

(後書き)

初投稿でした。文章訂正誤字脱字等がありましたらご報告いただきたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9419b/>

無意味思考

2010年11月27日13時10分発行